

Advice

先輩たちへ!

石原さん
学生の頃からNPO活動をしています、やはり「学生」という身分は大きなメリット。役所の人にも怪しまれませんし(笑)。ぜひ、学生は行動を!

松田さん
一度の人生。他人の人生ではなく、自分の人生を生きるのが一番。共感できる活動には参加すればいいし、共感する組織がなければ、自分で創ればいい!

村田さん
気になったことを調べたり、何かに参加してみると、次のステップが見えてきます。人との出会いで人生が変わることも。まずは動いてみてください。

特集
未来をひらく
NPOのアイデア集
Ideas to Build the Future!

Question 7
継続に必要なことは?

- 同じことを続けるだけでなく、新しいアイデアや取り組みに挑戦し続けること。私たちも時代や子どもの変化にあわせて、活動内容も工夫して変えてきました。(石原さん)
- 自分の活動の目的や社会的インパクトを再認識し、続けるという覚悟を持ち続けること。場数を踏むことで、多様な環境に適応する能力も身につきます。(松田さん)
- 情熱、当事者意識、使命感、いい仲間。いい仲間とは、想いに共鳴し、得意なところを持ち寄ってチームの一員になれる人。常に一緒に前を向いていられる人たちです。(村田さん)

Question 8
活動を飛躍させられた要因は?

- やはり人に恵まれたこと。スタートの頃とメンバーは違っていますが、自分ひとりでは続けられなかったと思います。仲間との食事の時間も大切にしています。(石原さん)
- 頭でっかちにならず、いろいろな人や情報に出会い、耳を傾けてきたこと。「居心地が悪い」と思うことも経験し、自分自身の「境界線」を越えてきました。(松田さん)
- 仲間や応援してくださる方々の存在が大きいです。内部分裂してやめることを考えたときも、仲間は話し合いを根気強く続け、最後まで離れずにいてくれました。(村田さん)



先輩! 教えてください!!

アイデアの 見つけ方。

教えてくれた先輩

村田早耶香さん かもはしプロジェクト共同代表 32歳	
<p>むらた・さやか ● 東京都出身。大学の国際問題の授業で人身売買の現状を知る。アルバイトでお金を貯めて現地を訪れるなどで活動をスタート。現在は結婚し、夫は「もっとも近い応援者」として村田さんをサポート。</p> <p>活動 11年目 活動内容 コンゴリアンで児童売買の撲滅を目指す。現地警察の支援や、人々の仕事を助げるコミュニティファクトリーの経営、孤児院支援などに取り組む。(www.kamo-nohashi-project.net) 学生時代のサークル 国際協力サークル、合唱サークル 経験 学生 産後の母 PRESENT プレゼント 世界で1番大切なことを見つけた! 坂之上洋子著 ニュース NHK WORLD RADIO JAPANなど 必携ガジェット MacBook Air メンター 経営ストラテジスト/作家の坂之上洋子さん</p>	
<p>アイデアを見つける一日の過ごし方は?</p> <p>8:00 起床</p> <p>10:00 出社</p> <p>19:00 情報収集、ハッファ</p> <p>21:00 食事&ニュース</p> <p>23:00 夫と会話</p> <p>25:00 就寝</p>	<p>活動の道のり</p> <p>2001年6月 課題を発見</p> <p>2002年7月 任意団体立ち上げ</p> <p>2006年 仕事支援開始</p> <p>2009年 孤児院支援開始</p> <p>2010年 事業支援開始</p>

松田悠介さん Teach For Japan CEO 30歳	
<p>まつだ・ゆうすけ ● 千葉県出身。都内の中高一貫校に体育科教師として2年間勤務。その後、千葉県市川市の教育委員会を経て、ハーバード教育大学院修士課程へ入学。卒業後、PwC Japanを経て、同NPOを創設。</p> <p>活動 3年目 活動内容 多様な人材を2年間のプログラムで教師として学校に派遣。プログラム研修生たちには、教育現場の課題解決と次世代の教育リーダーとしての活躍が期待されている。(www.teachforjapan.org) 学生時代のサークル 陸上部 新聞 PwC Japan職員 産後の母 「新卒教師のサークル」 陸上部 マチ・リスナーズ/ロナルド・A・ハイフェッツ著 ニュース 日経電子版など 必携ガジェット iPhone メンター 株式会社「リクルートキャリア」の水谷留之社長</p>	
<p>アイデアを見つける一日の過ごし方は?</p> <p>3:50 起床-メール処理</p> <p>6:30 通勤-情報収集</p> <p>7:30 出社-アイデアの整理</p> <p>22:00 帰宅</p> <p>24:00 就寝</p>	<p>活動の道のり</p> <p>2008年3月 学校設立を志し、体育教師退職</p> <p>2009年10月 Teach For Americaの創設者ウェンディ・コップに出会う</p> <p>2010年7月 団体設立</p>

石原達也さん 遠足計画代表 36歳	
<p>いしはら・たつや ● 岡山県出身。森林レンジャーを目指し、林業緑地科高校、鳥取大学の農学部へ。在学中に学生NPOを設立。現在は「岡山NPOセンター」理事や「みんなの集落研究所」代表執行役なども兼任。</p> <p>活動 10年目 活動内容 「遊ぶ場所がない」と話す鳥取の子どもたちのために冒険基地を建設。遊びから社会性が身に付く点にも着目し、活動の幅も拡大。コミュニティカフェや遠足企画などもあり、地域交流の拠点に。(www.ensoku-keikaku.org) 学生時代のサークル 山岳部、邦楽部の会 創設 社会福祉協議会の職員 産後の母 「ブルーフルーツ」ジュース、オノ・ヨーコ著 ニュース Gunosyなど 必携ガジェット レッツノート メンター 医療救急支援などに取り組む60代の大先輩の女性</p>	
<p>アイデアを見つける一日の過ごし方は?</p> <p>7:30 起床</p> <p>9:00 メール処理など</p> <p>13:00 馴染みの本屋へ</p> <p>16:00 登山でスケッチ</p> <p>22:00 DVD観賞</p> <p>26:00 就寝</p>	<p>活動の道のり</p> <p>2000年夏 キャンプで課題発見</p> <p>2000年秋 アイデアが生まれる</p> <p>2000年冬 視察などの活動開始</p> <p>2001年3月 団体設立</p>

STEP A
見つける

Question 3
アイデア=解決法はどう見つけた?

- 学校の校庭や児童館ではなく、キャンプ地のような場所が日常生活のなかであればと考えていたと、東京にある「羽根木プレーパーク」の存在を知りました。実際に見学に行ったこともあり、そこからヒントを得ました。(石原さん)
- 経営やリーダーシップを学んでいたアメリカの大学院で、「Teach For America」の活動を知りました。多分野からの優秀な人材を教育現場に送り込む。これを日本でやったら、大きな変化が生まれるんじゃないかと思いました。(松田さん)
- 東南アジアを訪れたり、関係しそうな団体の講演に言葉から参加するうちに、外務省の方と出会い、「児童の商業的搾取に反対する世界会議」に参加。やがて共感する人と出会い、みんなで問題の解決策を考えました。(村田さん)

Question 4
ふだんから心がけていることは?

- どんなことでも面白がること。興味のないジャンルや内容であっても、やればやればは見てくるものがあるはずだと思います。(石原さん)
- 全くもって違う業界や性格の人とつき合うこと。違うものに出会ってハッとする、ダイバーシティから生まれてくるものがあるのだとアメリカで学びました。(松田さん)
- いろいろな社会課題に対して敏感になること。気になったら講演に参加し、現場を訪れる。できることをするうちに、本気で取り組みたい課題が見つかるはず。(村田さん)



あなたのアイデア?
A 子どもが自由に遊ぶ冒険基地をつくりま
A 多様な教育リーダー学校の現場を変革!
A 子どもを買わせない売らせない世界に。

課題を見つけた場所は? そのとき何をしていた?

- 鳥取大学に在学中に友人たちとNPO組みの一つとして夏にキッズキャンプを企画。豊かな自然があるにも関わらず、遊び方を知らないことに気づきました
- 体育教師として中高一貫校に勤務し学校現場などの現場に直面し、教員の増改組の必要性を感じました。やがて「やりたい」と思うようになったのです。
- 大学2年の授業で売れっ子に売られた実態を知らなければと思い、タイとカンボジアでひどく傷つけられている子どもし、どうにかしなくてはと思いました。

ソーシャルな活動をしたいけど、何をしたらいい? みんなはどうやって始めたの? 必要な心構えは? そんな疑問に3人の先輩たちが答えます!

illustrations by Tadaaki Mori text by Yoko Sato

実現までに必要なヒト・モノ・コトは?

- A ヒト** 友人たち。手伝ってほしい内容を具体的に伝え、自然な流れで活動に取り込みました(笑)。
- モノ** 資金は民間の助成金、道具類は教育委員会などから拝借。意外と何とかなります!
- コト** 人の縁をうまく利用すること。みんないろいろなチャンネルを持っていますから。(石原さん)
- A ヒト** 動き回り、発信し続けるなかで、協力してくれる人たちは自然と見つかります。
- モノ** PDCAを修正しながら必要なモノを収集。資金集めに自分たちでITビジネスも行いました。
- コト** 仲間を見つけ、団体を設立するなど。これも模索するなかで見つかります。(村田さん)

- A ヒト** プロジェクトには多様な人材が必要。自分の想いを発信して共感してくれる人を探しました。実は東京の事務所は企業からの無償提供。新聞で活動を知った方が協力してくれたんです。
- コト** 周囲のサポートを得るには伝える力が大切。そのためには相手の話も聞くこと。(松田さん)

くじけそうになった瞬間は?

- 活動を始めた頃は「机上の空論だ!」と言われたり……。でも批判は私の常です。(石原さん)
- 日々困難。でも自分のとがった部分(強み)を信じ、いつでも強気の姿勢で! (松田さん)
- くじけるときは身体も弱っているとき。まずは寝て、自分の好きなことをやります。(村田さん)

STEP B
育てる

